

●11月10日第4回会議で議論いただく内容について事前に連絡させていただきます。

第4回会議の予定

新火葬場施設について

○第3回会議で決定した基本方針に基づき、前回に引き続き新火葬場施設の機能等について意見をいただきます。

- ・ 火葬炉
- ・ 炉前ホール
- ・ 告別室
- ・ 収骨室
- ・ 待合室（おときを行う室）
- ・ 駐車場
- ・ 緩衝帯（樹木植栽、庭園、広場）
- ・ その他

参考：第3回会議（10月6日）の内容

[前半]第3回会議では、新たな基本方針（新火葬場建設検討委員会案）を決定しました。

【基本コンセプト】

「ふるさと高山の自然と風土に抱かれた
厳かで温もりのある旅立ちの空間」

【基本方針】

- ①故人の旅立ちにふさわしい厳かな空間
- ②見送る人々にとってやさしく温もりのある空間
- ③高山の自然・文化・伝統に根差した高山らしい空間
- ④公共施設としてふさわしい建物
 - ・ 建設及び維持管理のコストを考慮
 - ・ 誰もが利用しやすい場所・建物
 - ・ 自然環境に配慮した施設
 - ・ 近隣住民の生活環境への配慮

[後半]次に上記の基本方針を基に、高山市営火葬場の現状図を参考として、新火葬場施設の機能等について考えました。

（意見）

- ・ 火葬の時間が短くなるので火葬炉3基で足りるのでは。それに余裕を見て4基と考える。
- ・ 東日本大震災では火葬場が機能停止したため、すべての火葬が終わるのに半年かかった。
- ・ 震災など緊急時には、そこで火葬できない場合、高山へ連れてくることも考えられる。

- ・ 40年50年後の建て替えを考慮し、駐車場部分に建物が建つくらの面積を確保すべき。
- ・ 積雪の考慮や、多目的に使えることも考慮し、駐車場に屋根をかけるとよい。
- ・ 災害時を考慮して火葬炉は4基でよい。
- ・ 高山火葬場は火葬に3時間かかっているが、これが短くなれば3基でも大丈夫と考える。
- ・ 新火葬場はお別れの場として個別のスペースとするほうがコンセプトに合致してよい。
- ・ 葬儀の規模が小さくなっているため、家族葬への対応も考慮すべき。
- ・ 松ヶ丘公園斎場（昭和45年築）の今後の予定がわからないことを考慮すると炉は4基か5基必要ではないか。
- ・ 3件が常時使える体制をとるため、メンテナンスや故障を考慮して4基が必要。
- ・ 高山の一般的な葬儀のやりかた（時間帯）がある。昼の時間に火葬が集中するのであれば、ソフトを考えて火葬炉を整備すべき。

※詳細については議事録を確認いただきますようお願いいたします。

以上